

## 第42回 宇宙科学・探査小委員会 議事要旨

1. 日時：令和2年11月13日（金） 14：00－15：30

2. 場所：宇宙開発戦略推進事務局大会議室

3. 出席者

(1) 委員

松井座長、常田座長代理、関委員、永田委員、竝木委員、山崎委員

(2) 事務局（宇宙開発戦略推進事務局）

松尾局長、岡村審議官、川口参事官、吉田参事官

(3) 関係省庁等

文部科学省研究開発局宇宙開発利用課

藤吉課長

国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構（JAXA）

國中理事

宇宙科学研究所

稲富教授

4. 議事要旨

(1) 宇宙科学・探査プログラムの進め方について

JAXAから資料1を用いて説明があった。

委員からは、以下のような意見があった。

（○：意見等 ●：事務局・文部科学省・JAXAからの回答）

○戦略的中型ミッションにおける海外協力について、今後どのような方式で進めるのか。

●ボトムアップ方式のWGの活用なども含めて、進めてまいりたい。

○戦略的海外共同計画のコストキャップ（10億円／年）について、世界と比較して、検討するべきではないか。

●ご指摘ふまえて、検討してまいりたい。

(2) アルテミス計画における科学について

JAXAから資料2を用いて説明があった。

委員からは、以下のような意見があった。

（○：意見等）

○産業界の参画を促す観点で、アルテミス計画を考えることも必要ではないか。

○アルテミス計画の機会を使って、どういう最先端のエッジの効いた科学ができる可能性があるかというオプションをリストアップして持っておくことが必要。

○なぜ、我が国がアルテミス計画に参画するのか、米国がやっているからというだけではない理由が必要ではないか。そのゴールの一つとして科学を考えるべき。

(3) 宇宙基本計画工程表改訂について  
事務局から参考資料 1 及び 2 を用いて説明があった。

委員からは、以下のような意見があった。

(○：意見等)

○「アルテミス計画の機会を最大限活用した科学的成果の創出に向けた検討」について、具体的なコンセプトを考えていく必要がある。

以 上